

# 市長から



## 市民のみなさんへ

山陽小野田市長 白井博文

### ③「市の名称アンケートの結果」と「対話の日」について

#### 「まちづくり市民会議『市の名称』部会」を設置します

「山陽小野田市」という市の名称について、旧小野田市、旧山陽町在住の方、千人ずつを対象に行った「市の名称アンケート」を6月15日で締め切らせていただきました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

結果は前ページでお知らせしたとおりです。これを受けて、6月1日号の広報でお話したとおり、「まちづくり市民会議『市の名称』部会」を設置し、再度、市民のみなさんとともにこの問題を考える場を設けることにします。部会の募集は7月15日号の広報とホームページで行い、旧市町10人ずつを予定しています。

公募を経て、「まちづくり市民会議『市の名称』部会」にお集まりのみなさんには、まず最初に、名称変更にもなる費用対効果の面などを含め、基礎的な情報について知っていただき、その後、協議をはじめってもらうつもりです。いろいろな地域、様々な立場の方々の声を吸収した委員のみなさんが、意見交換し、真剣に話し合いをされていく中で、市民の良識が反映された一つの結論が導かれることでしょう。「やはり山陽小野田市のままでいい」という意見に落ち着くかもしれません。そうなった場合、この問題は終結させるつもりです。一方、「すべての市民に問うべき」という意見に集約される可能性もないとはいえません。その時のために、市としては、常設型の住民投票条例の制定に向けて準備作業にとりかかります。仮に、今回、住民投票まで至らなかったとしても、将来、最終的にすべての市民の意思を問わなければならないような重要な問題が生じることを想定すれば、その作業はムダではないと考えます。

### 何が何でも市の名称を 変えるつもりではありません

今まで、お話ししてきたことの繰り返しになりますが、私は何が何でも市の名称を変更しようとしているわけではありません。市の名称を変えれば、市民生活、市内企業にとどまらず、全国にその影響が波及することは十分、理解しています。それを承知の上で、あえてアンケートを行ったのは、「自分の暮らしているまちの名前に違和感を覚える」という多くの方の意見を聞き流すことができず、今一度、この件に関する民意を確かめる必要性を感じたからです。結果として、過半数が「再検討してもらいたい」という意思をもっていることがわかりました。次のステップは、市民の代表の方に集まっていただき、さらに議論を深めてもらう段階と考え、まちづくり市民会議の設置を決めたのです。部会での協議内容はホームページ等で公開します。多くの方に関心をもっていただき、間接的ではありますが、その協議に参加していただくことを希望します。

#### 「対話の日」をはじめます

さて、今月から、私自身が市内各地域に出向いて、市民のみなさんとコミュニケーションを図る場、「対話の日」をはじめることになりました。これは、ともしれば縁遠い存在と思われがちな市役所と市民の距離を少しでも縮め、相互のより良い関係をつくることを目的とするものです。私の目指す「市民本位のまちづくり」をすすめるためには、まず第一に、みなさんの市政への考えや想い、もちろん苦情にも耳を傾けることが必要と考え、このような機会を設けることにしたのです。しかし、あまり形式ばったものにするつもりはありません。また、みなさんからの様々なご意見やご要望に対し、内容によってはその場でお答えはせず、市役所に持ち帰って検討ということもあるでしょう。むしろ市民のみなさんと市長の私が、お互いの顔を見ながら語らう“対話そのもの”を大切にし、それが一つの成果となるように続けていけたらと思います。

なお、具体的な日程等は広報を通じてお知らせする予定です。とりあえず、7・8月の予定は下記のとおりです。どうかお気軽に、お散歩がてら、お越しください。多くの方々のご参加をお待ちしています。

市民の  
みなさん

市長

## 「対話の日」はじめます。

親しみやすい市役所を目指し、市民のみなさんとのパートナーシップを深めるために「対話の日」をはじめます。月に一回、各地域に市長が出向き、地域の課題やみなさんの考えをききながら、意見交換をしていきたいと思えます。なお、7・8月の日程は上記のとおりです。多くの方々のご参加をお待ちしています。(以降の日程は、広報で随時、お知らせします。)

【問い合わせ先】市民活動推進課 ☎ 82-1134

7月28日(木) 福田公会堂 (下福田)  
8月25日(木) 本山福祉会館 (大須恵)

※いずれの会場も19時からです

